



平成27年度テーマ

# 修 練

長崎県立諫早東高等学校

TEL: 0957-36-1010 (事務室) 0957-36-1070 (職員室)

FAX: 0957-36-1011

http://isahayahigashi.net/

ホームページにもアクセスしてみてください。

## 校長室の窓から

校長 末永 幸寛

### 『心を開き合う友の存在』

#### ■ 各部活躍しました

野球部、夏の甲子園予選すばらしいプレーを見せてくれました。コンクールを控えた吹奏楽部の音色に、力強さと自信、ハーモニーが感じられます。また、全国大会へ出場するアーチェリー部・放送部の活躍を楽しみにしています。8月5日オープンスクール、中学生が、志望したくなる、入学したくなる東高を披露したいと思います。中学校の校長先生方から、「通学が不便でも東が第一希望の生徒が今年もいますよ」「面倒見がいいと評判ですよ」との話を聞きました。学習、部活動、あいさつなど日々の活動を通して、新たなステージに挑戦する諫早東を目指したいと考えています。

#### ■ 友の存在

高校時代は悩む時期です。その悩みはどこにあるのかと考えたとき、私たちは心の中に小さな部屋を持っていて、他人には言えない悩みや触れられたくないことを隠しているのではないのでしょうか。その部屋の中で、どうしたらいいか一人で考え、苦しんだりしているのだと思います。でも、苦しみ・悩みに耐えられなくなったら、少しでも心のドアを開けてみてください。あなたの秘密に気がつき振り向いてくれる人が、どこかにいるかもしれないからです。それに気づいてくれる人が親友・腹心の友なのです。お互いの声、表情から理解してくれる友を見つけて下さい。また、気づく人になって欲しいものです。特に3年生は、高校生最後の夏休みです。

「Face to face」で友と語る夏、親子の絆に触れる夏にしてください。

2学期、成長した姿を楽しみにしています。

## 【2学年インターンシップ（就業体験）】

2学年では7月7日（火）～9日（木）の3日間のインターンシップ（36事業所）を無事終了することができました。各事業所での職業体験を通して、自分自身の将来に対する甘さ、働くことの厳しさ等を自覚し、自分の適性について考える貴重な機会となりました。今回の体験を通して、いろいろとお世話になった方々への感謝の気持ちを持って学校生活を送ってくれるものと確信しております。この後は、お世話になった事業所の方へのお礼状の送付、インターンシップ体験学習発表会でのスライド発表、壁新聞での発表などを行う予定です。インターンシップではいろいろな方々にお世話になりました。この場を借りてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

## 【3年生 三者面談】

3年生三者面談の主な内容は進路について、特に受験校や受験企業の確認・検討となります。三者面談の席で生徒と保護者の進路希望が大きく違うというケースが例年わずかながら見受けられます。そうならないよう、三者面談までに進路の検討を親子で十分お願いします。生徒には志望校調べや求人票の閲覧を指導しています。

今年1月に実施した「携帯電話に関するアンケート」によると、本校生徒の携帯電話（スマートフォンを含む）所持率は「93.2%」でした。また、主な利用方法は、「LINE」、「音楽のダウンロード」が上位を占めていました。すでに生徒たちは、急速な発展を続ける情報化社会に足を踏み入れています。安易な行動から犯罪や事故に遭うことがないように、情報モラルやマナーを身に付けさせることは、我々大人たちの責任であり義務であると考えます。高校生の皆さんも普段から以下のことを心掛けるようにしてください。

- 携帯電話やインターネットは、ルールを守って使いましょう。
- 個人情報や安易に知らせたり、書き込んだりしないようにしましょう。
- インターネットは、見知らぬ人と接していることが多いことを覚えておきましょう。
- 身に覚えのないメールは読まずに削除しましょう。
- 軽い気持ちで行った行動が、重大な危険を招いたり、事件に巻き込まれたりする恐れがあることを覚えておきましょう。
- 危険なことに巻き込まれそうな不安を感じたり、困ったことが起きてしまったときは、データを削除せず、保護者や学校の先生、または専門の機関に相談しましょう。

- 1 推薦入試について知ろう！
- 2 評定基準について知ろう！

近年、社会の変化とともに入試制度が多様化しています。その中で、本校生は推薦入試を利用する生徒が進学者の70%です。（「進路のしおり」に詳細はありますのでお読みください。

不明な点は担任、または進路指導部の先生お尋ねください。）

### 【 推薦入試 】

推薦入試は「指定校推薦入試」と「公募制推薦入試」の2つに大きく分けられます。指定校推薦入試は、大学・専門学校が指定した高校だけを対象とした推薦入試で、その高校の生徒でなければ受験できません。国公立大学では実施されず、私立大学・短大・専門学校で実施され、一般的に出願条件は厳しくなっています。公募制推薦は大学・短大・専門学校が定めた条件を満たしており、かつ高校からの推薦を得られれば、誰でも受験できます。指定校推薦に比べると出願条件は緩やかです。なお、本校の推薦基準は、PTA総会資料として保護者の皆様には配付しております。（出席や生活面などの条件あり）

### 【 評定基準 】

評定とは、定期考査の学年末の評点（総合成績）が80点以上なら「5」、55点以上なら「4」…となっています。この3ヵ年の評定平均が各上級学校の評定基準に達していれば、受験をすることができます。

長崎大学・佐賀大学・大分大学 **4.3以上** 長崎県立大学 **3.8以上**

福岡県私設病院協会専門学校 **4.0以上** 旭川荘厚生看護専門学校 **3.8以上** など

以上のことから、自分の志望校を自分の母校に変えるためには、定期考査に全力で取り組むことが大切です。

3年になってから受験準備をすれば大丈夫と高を括っている場合ではありません。1・2年の成績も推薦入試では重要視されます。また、**定期考査＝受験対策**です。将来の自分のために、次回の定期考査に全力を尽くしましょう。

